

JAM熟練技能継承事業ニュース

発行：2015年2月20日
JAM熟練技能継承推進室

「教員研修」継続を要望される

～JAM最後の実習を岐阜・岐南工業高校で開催～

JAMが熟練技能継承事業を実施する中で特徴的な取り組みのひとつが「工業高校の教員への技能研修会」の実施です。

平成25年度に岐阜で2日間の技能研修会（ドリル・バイトの研削）を実施し、大変好評を博したことから、平成26年度は埼玉・大阪でも実施し、受講した教員や研修に送り出した高校から非常に喜ばれました。

今年度、岐阜においては10月に岐阜県の教育委員会とタイアップして初心者向け技能研修を実施し、今年に入って2月4日と18日の2日間、若手教員を対象とした機械加工（普通旋盤加工から刃具研削まで）の実技研修会を実施しました。

会場となったのは、前年度も使用させていただいた岐阜県立岐南工業高等学校で、「教員にもっと技能を身に付けさせたい」という林校長先生のご理解と実習教員の多大なご尽力で研修を具現化することができました。

今回参加した教員は2日間で延べ32名、参加者アンケートでは、今後活かすことができるかの設問に「今後の生徒の指導に大いに役立つ」が100%、受講の感想は「大いに満足した」が100%で、自由記述では多くの先生が「このような研修会を今後も続けて欲しい」と書き込んでいました。



＜岐南工業高校の実習場で研修を受ける皆さん＞



＜旋盤の回転数などを指導する松岡氏（左）＞



＜切削の注意事項を説明する北川氏（左）＞



＜ドリルの研削実習に取り組む受講教員＞